

公的医療機関等 2025 プラン及び新公立病院改革プランの概要版

【医療機関名】 富士見高原医療福祉センター 富士見高原病院

項目	内容
1 現在の医療機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病床機能ごとの病床数 急性期：151 床（内、地域包括ケア病床：22 床） ・ 救急告示病院、へき地医療拠点病院などの役割 救急告示病院、二次救急医療施設、強化型在宅療養支援病院 ・ 算定する診療報酬 入院基本料：10 対 1、D P C Ⅲ群 ・ 診療科：21 科（内科・精神・神内・呼吸器・消化器・循環器・小児・外科・心外・整形・形成・皮膚・泌尿器・こう門・産婦・眼・耳鼻咽・リハ・放射線・麻酔・歯科口腔）
2 医療機関が抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提供する入院医療に関する課題 富士見町の人口減少（H27 年対 H22 比：△5.5%）（国勢調査参考） 富士見町の高齢化（65 才以上割合：H22=30.0%、H27=33.7%） 小児科の入院受け入れ困難、常勤麻酔科医不在（緊急手術対応困難） 若い世代の常勤医師確保困難 ・ 住民からの要望 小児科診療（入院含む）の充実、救急医療の充実、白内障手術の実施 ・ 開業医との連携 紹介、逆紹介を含む連携不足
3 課題を踏まえた将来の医療機能・担うべき役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病床機能ごとの病床数 急性期：107 床、回復期：44 床 ・ 今後担うべき役割 地域完結型医療、在宅及び介護施設療養の支援と有効な連携、神経難病・身体障害者の積極的受け入れ、隣県住民の日常及び災害時等の医療受け入れ体制、高度急性期治療後の在宅系復帰への橋渡し ・ 算定を予定している診療報酬 地域包括ケア病棟 ・ 診療科 皮膚科、耳鼻咽喉科、婦人科の外来診療充実
4 将来に向けた取り組みスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の病床機能の転換に向けた検討スケジュール 地域包括ケア病棟導入（平成 30 年度） ・ 総合確保基金等の活用希望時期 平成 31 年度 地域医療ネットワークに接続するための電子カルテの整備 ・ 工事等のスケジュール 予定なし
5 数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平均在院日数 18 日 ・ 病床利用率 90%以上 ・ 新規入院患者、急変時対応患者の目標数 新規入院患者数：230 名／月（平均在院日数 18 日から算出） 急変時対応患者：500 名／月（休日時間外・救急搬送実績から算出）